

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号			
D-20-1 ~ D-20-3			
事業名			
大蛇地区集会所移転新築事業			
事業費			
総額 128,606,935 円 (内訳)			
事業番号	年度	事業費	事業概要
D-20-1	H23	9,185,300 円	用地買収 4,980.05 m <sup>2</sup>
D-20-2	H23	1,347,035 円	立木伐採
D-20-3	H24	118,074,600 円	設計監理業務委託 7,875,000 円 用地造成工事 13,511,400 円 建築工事 96,688,200 円
事業期間			
平成 23 年度～平成 24 年度			
事業目的・事業地区 (別紙として地図を添付)			
東日本大震災の津波により流失した大蛇集会所を、平時には集会所機能、豪雨、豪雪等の災害時には地域拠点機能を備えた施設として整備することを目的とする。			
事業結果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 23 年度 用地買収 4,980.05 m<sup>2</sup></li> <li>・平成 23 年度 立木伐採</li> <li>・平成 24 年度 設計監理業務委託、用地造成、建設工事一式</li> </ul> 工事概要 構造：木造 平屋建 カラーアルミニウム鋼板縦平葺き バリアフリー、延床面積 481.12 m <sup>2</sup> 、建築面積 513.42 m <sup>2</sup> 用途：地区住民集会所			
事業の実績に関する評価			
東北地方太平洋沖地震により、大蛇地区には最大 10.7m の高さまで津波が押し寄せ、大蛇集会所が流出・全壊する被害を受けた。このことで、同地区			

には、集会所機能を備えた施設や、豪雨、豪雪等の自然災害に拠点となる施設がなくなったため、当該事業により移転新築することによって、地域コミュニティの再生や地域防災力の向上が図られた。

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

町内会、子ども会、婦人会、体育協会支部、ほのぼの交流会、夏祭り実行委員会などの地域団体により、役員会、総会、敬老会、健康づくりなどの活動に、地域人口約 1,100 人を超える年間延べ約 1,200 人が利用するなど、地域コミュニティ活動の拠点として、地域住民のコミュニティ醸成に大きく活用されている。

また、これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際に避難所として活用された例はないが、自主防災組織における防災訓練等の際に、施設を活用した訓練が、平成 24 年度から平成 27 年度まで毎年度実施され、延べ約 600 人が参加するなど、地域防災力向上のために有益に活用されている。

以上のとおり、本事業の有用性は高いと評価できる。

② コストに関する調査・分析・評価

工事費、委託費の積算に当たっては、青森県積算基準等に基づいており、また、用地取得については不動産鑑定評価に基づき取得していることから、本事業のコストは、妥当であると評価できる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際の事業期間
用地買収	H23. 12. 8～H24. 3. 31	H23. 12. 8～H24. 3. 29
立木伐採	H24. 3. 15～H24. 3. 31	H24. 3. 19～H24. 3. 31
設計監理委託	H24. 5. 1～H25. 3. 25	H24. 4. 26～H25. 3. 25
造成工事	H24. 6. 30～H24. 8. 31	H24. 6. 30～H24. 8. 29
建設工事	H24. 9. 1～H25. 3. 25	H24. 9. 7～H25. 3. 25

用地買収や工事については、概ね予定どおり事業を進めることができた。

また、本事業では、集会所機能はもちろん、豪雨、豪雪等の災害時地

域拠点機能を備えた施設としており、事業手法は妥当であると評価できる。

事業担当部局

階上町総合政策課 電話番号 0 1 7 8 - 8 8 - 2 1 1 3 (内線 2 2 2)

【大蛇地区集会所】



集会室 (80 畳)・ステージ (20 畳)



調理室 (20 畳)



会議室 (17.5 畳)



和室 (16 畳)



ホール (廊下を含め 37 畳)



多目的トイレ (両隣に男女トイレ)

【地域防災訓練の様子】



【地区敬老会の様子】



【旧大蛇集会所と整備された大蛇地区集会所の位置図】

